

**Q** 滋賀の幸一の販売状況の内訳は。

**知事** 売れ筋商品は米、肉が全体の9割を占め、続いて水産加工品、野菜、くだもの、花、茶の順となっています。

3か月の売上トップは、肉の小売店が2,600万円、次いで米の小売店が2,400万円。購入者の年代は、40〜50代が6割、20〜30代も2割弱で若い世代の利用が多く、居住地は東京、大阪、滋賀の順番で、県内の購入者が多いのが本県の特徴です。

**Q** 売れ筋商品や売れている店舗の特徴は。

**知事** 売れ筋商品の特徴は、商品の写真が優れていること、説明が一目でわかりやすいことなどが挙げられます。

売れている店舗は、用途や数量でアイテムを多数設定するなど、消費者の選択肢を増やす工夫をされています。

米では自宅に届くまで品種名がわからない福袋など、遊び心がある商品も人気があったといわれています。

**Q** 今年度、県では新たにオンラインショップを開設する、または改善する農畜水産業者を対象に、アドバイザーを受けられる専門家の派遣や、開設等に必要経費の一部を補助金により支援する取り組みを行っている。専門家派遣に際しては、県職員が同行しているが、Yahoo!のメールアドレスと聞くと、滋賀の幸一集得られたノウハウなどをアドバイザーにどのように活かしているのか。

**知事** 今年度から、新たにECサイトに新店する農業者に専門家を派遣し、商品情報の伝え方や商品の写真での魅力の見せ方など、昨年度の事業で得られたノウハウを活かし、支援を行っています。

また、各農業農村振興事務所の普及指導員が専門家に同行し、出店支援に関わることでノウハウを習得し、農業者がネット販売を開始する際にアドバイザーができるよう体制づくりに努めています。

**Q** 「滋賀の幸一」のウェブサイトについて、お問い合わせの件です。

**知事** 「滋賀の名品ショップ」ウェブサイトは、県産品の消費拡大と情報発信を目的に、滋賀県中小企業団体中央会が自社ECサイトとして運営しています。「滋賀の名品ショップ」ウェブサイトは、「Yahoo!ショップ」内に中央会が注文窓口を設置しています。このウェブサイトについては、中央会が県内で事業者から集荷を行い、商品を滋賀から発送する仕組みとなっています。

「滋賀オンラインショップ」は、第2期運営事業者であるアイズ株式会社独自に開設したもので、「滋賀」の店頭にある商品を、東京から発送する仕組みで、会員制度やポイントサービスなどを店舗と共有するなど、「滋賀」店舗と連動したウェブサイトになっています。

**Q** 3つのECサイトの現在までの実績について。

**知事** 「滋賀の名品ショップ」ウェブサイトは、平成28年度の開設から現在までに、約2,200万円の売上と令和2年度から開設された「滋賀の名品ショップ」ウェブサイトは、約1,200万円の売上があります。両サイトにて、現在、121の事業者から、511の商品の出品があるとのこと。今年5月20日に開設した「滋賀オンラインショップ」は、現在、サイトの周知や店頭商品の追加掲載を順次行っています。

**Q** 県としてネット販売を活用する事業者を後押ししてできる施策やノウハウがあるのかどうか。

**知事** 商工会、商工会議所の職員に対する人材育成支援や、補助金等による事業者支援に取り組んでいます。

**Q** 県として各ECの特色を部局を越えて共有・連携し、ノウハウを蓄積しながら、企業の販路開拓を支援することが重要で、部局横断的に次につなげる一歩を踏み出してはどうか。

**知事** ECはそういったことが広がることには民間でお願いしますが、民間のツールを使って販路を広げたり、売り上げを伸ばそうとする方々

には、ノウハウ等に関して、例えば農水部局だけでなく、この滋賀の担当、観光の担当等とも連携しながら情報共有していくことは滋賀の産物を広く売っていくために大変重要なことだと考えます。

このチャンネルが広がることは、生産者が直接市場とつながるチャンスを広げることにもなり、一次産業を所得とともに向上させていくチャンスでもあると思いますので、部局横断で取り組みを広げていきたいと思っています。

**Q** 決済サービス事業者に対し業務改善命令が出たことについての知事の見解は。

**知事** メタックスペイメントへの主な処分理由は、クレジットカードのデータセキュリティに係る脆弱性診断の結果、脆弱性が検出されていたにもかかわらず、その報告書を改ざんし監査機関に提出していたことなどによるものであり、私も驚きとともに憤りを感じています。



### アンケートの情報漏洩事案と、電子割引券発行による中小規模事業者応援事業について

「アンケートの情報漏洩事案について、2月定例会議の補正予算の質疑においても取り上げましたが、その後の動きも踏まえあらためて質疑を行いました。

**知事** 許欺や迷惑メールと誤解されないよう、事前に告知メールを送り、県のホームページでも内容を確認できるようにするなど慎重に進めてきましたが、それでもコールセンターに「詐欺じゃないか」「怪しいものじゃないか」という問い合わせがきています。

他の媒体等も活用しながら、今後も周知に努めます。

**知事** システムの構築・運用にあたっては、委託事業者がセキュリティ対策の徹底を求めるとともに、県としても対策の状況等定期的に確認を行なっていきます。

**知事** このアンケートの情報漏洩事案が記憶に新しく、電子割引券に難色を示す方も多いのではと思うが、県民に安心して利用してもらったための啓発等について。

**知事** 安心して参加、利用していただくためには、クレジットカード情報の登録が不要であることなど、この事業の仕組みや安全性を認知してもらい、安心して利用していただくことが必要と認識しています。

**Q** 被害に遭われた方への見舞金QUOカードPay5000円の配布状況について。

**知事** カードの再発行を促すことを目的として、6月30日から7月8日にかけて、全てのカード利用者に対し、電子商品券「QUOカードPay」が受け取れるメールを送付済みです。

メールアドレスの変更等により、受信できなかった方については、ショートメッセージの送信や複数回の電話連絡により、確実に届けるよう努めているところであり、ほぼ配付は完了していると考えています。

**Q** メールでは未開封も多いのではないかと。QUOカードPayを使うには、シリアルコードの入力などの手続きが必要と思うが、その受け取り状況は。

**知事** 7月22日現在、63,337枚中25,900枚分です。

**Q** 現在約4割の受け取りというところだが、より多くの方に受け取ってもらうために、どのようにしていくのか。

**知事** 許欺や迷惑メールと誤解されないよう、事前に告知メールを送り、県のホームページでも内容を確認できるようにするなど慎重に進めてきましたが、それでもコールセンターに「詐欺じゃないか」「怪しいものじゃないか」という問い合わせがきています。

他の媒体等も活用しながら、今後も周知に努めます。

**知事** 今回のシステムは、事前に利用者がデジタル商品券を購入する方式ではないため、クレジットカード情報の登録が不要で、その他の個人情報も、必要最小限の範囲での登録を予定しています。

**知事** この事業は、事前に利用者がデジタル商品券を購入する方式ではないため、クレジットカード情報の登録が不要で、その他の個人情報も、必要最小限の範囲での登録を予定しています。

**知事** クレジットカードの再発行手続きの進捗状況について。

**知事** クレジットカード会社5社分、約32,000枚の情報が把握できており、この中で6月末時点での再発行率は約6割です。

**Q** 7月定例会議の補正予算にて、県内の店舗で利用できる電子割引券の発行により、地域経済の活性化を図る目的で電子割引券発行による中小規模事業者応援事業が挙げられている。これについての概要を。

**知事** 安心して参加、利用していただくためには、クレジットカード情報の登録が不要であることなど、この事業の仕組みや安全性を認知してもらい、安心して利用していただくことが必要と認識しています。

**知事** 事前にデジタル商品券を購入して利用する「アンケート」とは違い、この事業は電子割引券を配信する方式を採用、割引券の利用によりモノやサービスを安く購入できることで、消費を喚起していきたいと考えています。

利用方法は、専用のSNSに登録された利用者に対して最大30%割引、例えば1万円の購入で3,000円の割引が可能。電子割引券を定期的に配信し、利用者は、割引券を店頭で提示することで、購入金額に応じた割引を受けられる形というものを想定しています。

**知事** この事業は、事前に利用者がデジタル商品券を購入する方式ではないため、クレジットカード情報の登録が不要で、その他の個人情報も、必要最小限の範囲での登録を予定しています。

**知事** システムの構築・運用にあたっては、委託事業者がセキュリティ対策の徹底を求めるとともに、県としても対策の状況等定期的に確認を行なっていきます。

**知事** このアンケートの情報漏洩事案が記憶に新しく、電子割引券に難色を示す方も多いのではと思うが、県民に安心して利用してもらったための啓発等について。

**知事** 安心して参加、利用していただくためには、クレジットカード情報の登録が不要であることなど、この事業の仕組みや安全性を認知してもらい、安心して利用していただくことが必要と認識しています。

**知事** 今回のシステムは、事前に利用者がデジタル商品券を購入する方式ではないため、クレジットカード情報の登録が不要で、その他の個人情報も、必要最小限の範囲での登録を予定しています。

**知事** このアンケートの情報漏洩事案が記憶に新しく、電子割引券に難色を示す方も多いのではと思うが、県民に安心して利用してもらったための啓発等について。

**知事** 安心して参加、利用していただくためには、クレジットカード情報の登録が不要であることなど、この事業の仕組みや安全性を認知してもらい、安心して利用していただくことが必要と認識しています。

**知事** 今回のシステムは、事前に利用者がデジタル商品券を購入する方式ではないため、クレジットカード情報の登録が不要で、その他の個人情報も、必要最小限の範囲での登録を予定しています。

**知事** このアンケートの情報漏洩事案が記憶に新しく、電子割引券に難色を示す方も多いのではと思うが、県民に安心して利用してもらったための啓発等について。



田中松太郎の日々の活動はSNS等で配信しています！

公式ホームページ

<http://matsutaro.jp/>

検索 田中松太郎

滋賀県立視覚障害者センター（彦根市原町）にて、（仮称）手話をはじめとする障害者の文化を守り育てる条例の調査、審議に当たり、各障害の当事者団体の方々と課題等について意見交換を行った。

アストラゼネカ米原工場（米原市三吉）にて、県内企業の活性化、誘致に向けた今後の委員会審議の参考とするため、国際企業における先進的な生産拠点やCSRの考え方、取組等について調査。

マザーボード（守山市守山）は、ケアリバー等の困難を抱えた子ども・若者を地域で支える拠点施設。現地を訪問し、地域養護の取組状況と課題について調査を行った。

ホテル琵琶レイクオーツカ（大津市南小松）は、「滋賀県サイクリストにやさしい宿」の認定を受けたホテル。同施設の取組状況を現場視察するとともに、ビワイチの展望、課題について調査を行った。